

森岳温泉病院の施設基準変更 および減床・移転計画

資料6

2021年8月5日

山本郡三種町森岳字木戸沢199

森岳温泉病院 理事長 島田 薫



森岳温泉病院の沿革

- 大正11年(1922年): 山下医院開業(東雲村: 現能代市)
- 昭和7年: 山下医院が藤里町に移転(現在は附属医院)
- 昭和48年(1973年): 森岳温泉病院開設(リハビリテーション医療を中心とする病院) 62床
- 昭和52年(1977年): 146床に増床
- 昭和58年(1983年): 152床に増床



第1病棟57床、第2病棟57床、第3病棟38床、計152床

- 平成21年(2009年): 脳卒中地域連携パス開始

第3病棟を回復期リハビリテーション病棟とする(38床)

- 平成23年(2011年): 大腿骨頸部骨折地域連携パス開始
- 平成30年(2018年): 療養病床2床を回復期リハ病床に転換

第1病棟56床、第2病棟56床、第3病棟40床、計152床

- 令和2年(2020年): 療養病床2床を回復期リハ病床に転換

第1病棟55床、第2病棟55床、第3病棟42床、計152床



森岳温泉病院の理念・医療

森岳温泉病院は昭和48年山本郡山本町(現三種町)に開設され、「リハビリテーションを中心とした医療・介護を、スタッフ一同が協力して、心を込めて提供する」ことを理念とし、脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パスを活用するなど、地域連携を重視している。現在、回復期リハビリテーション病床42床と医療療養病床110床の計152床を有する。

回復期リハビリテーション病棟とは、発症または手術早期の脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の患者に対して、日常生活動作能力向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が共同で作成し、リハビリテーションを集中的に行なう病棟であり、病棟専任の医師、病棟専従のリハビリスタッフと構造配慮された浴室・トイレを配置し、病名毎にリハビリテーションと入院の日数が決まっている。

療養病棟とは、主として長期にわたり療養を必要とする患者が入院するための病棟として位置付けられ、病床面積、談話室など入院環境の基準がある。適応のある患者にリハビリテーションを施行できる。

森岳温泉病院の施設基準変更・減床・移転計画①

「森岳温泉病院、移転新築 回復期リハビリを強化・増床し療養病床を減床、2023年秋開院方針」

能代市山本郡の地域医療を担う中規模病院である森岳温泉病院(山本郡三種町森岳、島田薫理事長)は、今年度秋に回復期リハビリテーション病棟の施設基準を高めるとともに療養病床10床を減少し、さらに令和5年(2023年)秋に約600メートル西の特別養護老人ホームもりたけ隣接地に移転するとともに、療養病床18床を回復期リハビリテーション病床に転換し、療養病床22床を減少するという2段階の施設基準変更および減床・移転計画を進めている(計32床減床)。地域において求められる回復期機能の強化と療養医療の見直しを行うものである。特養・ケアハウス・デイサービス・居宅介護支援センターなどと、より緊密な連携が期待される。

看護師の配置基準は、療養病棟入院料2の20対1に比して回復期リハ病棟入院料3は15対1、回復期リハ病棟入院料2は13対1と、より多くの看護師を配置することが必要であり、同じ看護師数で回復期リハ病棟の施設基準を3から2に高め、また、療養病床の一部を回復期リハ病床に転換するためには減床する必要がある。さらに、回復期リハ病床を増床するためには、大幅な改築が必要となる。また、現在の療養病棟入院料2(医療区分2・3該当患者5割以上)から、より高度な医療体制の療養病棟入院料1(同8割以上)を目指す必要があると考えている。

森岳温泉病院の施設基準変更・減床・移転計画②

① 令和3年(2021年)秋に回復期リハビリテーション病棟の施設基準を3から2に変更し、療養病床の一部を減床する。

3階 回復期リハ(3)42床→回復期リハ(2)42床(看護師 15対1→13対1)

2階 医療療養(2) 55床→ 50床(5床減床)

1階 医療療養(2) 55床→ 50床(5床減床)

計 152床→142床(10床減床)

② 令和5年(2023年)秋の新築移転時に療養病床の一部(18床)を回復期リハ病床に転換し(回復期42床→60床)、療養病床を減床して(22床減床)病棟を減らし(3病棟→2病棟)、療養病棟入院料2から1への変更(医療区分2・3該当患者5割以上→8割以上)を目指す。

2階 医療療養(1) 60床(医療区分2・3該当患者が8割以上)

1階 回復期リハ(2)60床(看護師 13対1)

計 120床(22床減床:令和3年の10床と合わせて32床減床)

森岳温泉病院の移転先



森岳温泉病院(山本郡三種町森岳字木戸沢199)は、令和5年(2023年)秋に約600メートル西の特別養護老人ホームもりたけ(山本郡三種町森岳字木戸沢100-47)隣接地に新築移転する計画を進めている。特養・ケアハウス・デイサービス・居宅介護支援センターなどと、より緊密な連携が期待される。